

広報
報

中くしん

緑が香る 潮が香る 歴史が香るまち



令和元年11月
臨時号

未来創造議会・町長と語る会 特集号



東串良町長

宮原 順



町

民の皆様の町政に対する率直なご意見、ご提案を直接伺い、町政に反映させていくため、7月22日、23日の2日間「町長と語る会」を開催いたしました。会は2部構成で行い、1部につきましては、平成28年3月に私が町長に就任してから実施してまいりました事業施策について私自身が行政報告を行いました。また、2部では参加者との意見交換会とさせていただきます。参加者の方からは「この会に参加して東串良町のことをよく知ることができた」、「これからもこのような会を実施してもらいたい」との感想をいただきました。

また、8月8日には「未来創造議会」を開催いたしました。議会は小中学生の皆さんに議会制民主主義を実際に体験していただき、民主主義のルールを学び、皆さんから見た東串良町の身近な問題点について皆さんの率直な意見、考え方を述べる良い機会が与えられた場となりました。日ごろ生活している学校という世界から、東串良町というまちの政治に視野を広げ、感じていることを大人とは違う視線で述べていただきました。

私は「笑顔あふれるまちづくり」を基本理念として、「◆こどもに夢を！◆若者にロマンを！◆お年寄りに愛を！」を合言葉に取り組んできました。「町長と語る会」、「未来創造議会」で皆様からいただきました貴重なご意見・ご指摘につきましては、東串良町の未来やまちづくりに活かしてまいりたいと思います。

さて、「町長と語る会」、「未来創造議会」については町の施策等を知ってもらうことで、子どもからお年寄りまで、広く町政に関心を持っていただくことを目的として開催いたしました。両会については広報誌9月号で既にお知らせしたところではございますが、限られた誌面であるため、詳細をお伝えすることができませんでした。そのため、特集号を発行することとしました。本誌を通じて、町民の皆さまの町政に対する関心が深まれば幸いです。



未来創造議会参加者

石原 蒼議員 (東串良中2年)	山口 桃花議員 (池之原小5年)	下原口 治仁議員 (東串良中3年)	中島 彰吾議員 (東串良中2年)	竹下 輝議員 (柏原小6年)	江川 純平議員 (東串良中3年)	宮本 愛未議員 (池之原小6年)	高澤 元氣議員 (柏原小5年)	岩山 遙眞議員 (池之原小5年)	森山 花菜議員 (柏原小6年)	山越 みゆう議員 (池之原小6年)	竹下 翔議員 (柏原小6年)	窪田 菜々羽議員 (東串良中2年)	竹下 心愛議員 (東串良中3年)	北川 優花副議長 (東串良中2年)	野田 桜乃議長 (東串良中2年)
-----------------------	------------------------	-------------------------	------------------------	----------------------	------------------------	------------------------	-----------------------	------------------------	-----------------------	-------------------------	----------------------	-------------------------	------------------------	-------------------------	------------------------

町の広聴事業として、令和元年8月8日、令和元年度東申良未来創造議会が東申良町議会議場で開かれました。16名の児童生徒が未来創造議員に任命され、全ての議員が本会議場で町長や教育長に一般質問を行いました。質問事項は、生徒や高齢者の交通安全対策や公園など遊び場の整備対策の他、ごみ問題や防災対策など多岐にわたるものであり、児童生徒がそれぞれの想いを一所懸命に訴えました。

私達の国は、住民の代表者を選んで議会を構成して物事を決める議会制民主主義を採用しています。今回の未来創造議員の皆さんは、議会制度や民主主義の意義と仕組みを学ぶ良い機会であったと思います。この貴重な体験を糧として今後も学校や地域社会のリーダーとして一層の活躍を期待します。

尚、今回の未来創造議員の皆さんの一般質問は、私達にもこれからの町づくりの方策として大いに参考になりました。



東申良町議会議長
田之畑 稔

今回の未来創造議会では私は「議長」という貴重な体験をさせていただきました、ありがとうございます。この未来創造議会のお話を聞いたとき、「議長をやってみよう」と思っていたので、本当に議長ができるとなったときはとてもうれしくて、とても楽しかったです。未来創造議会についての説明を聞いた後に、議場に行って議長席に座ったときに、当日議長をするのがさらに楽しになりました。でも、実際の議会の映像を見たとき、「本当に私にできるかなあ」と不安になりました。それに、当日の原稿を見ても読むのが難しそうな漢字が多く、とても不安になりました。でも、何回も家で原稿を読む練習をして、本番、自分なりに議長ができたのではないかと思います。

勇気を出して議長をしてみても良かったと思います。



東申良町未来創造議会議長
野田 桜乃





就

任当初から希望していた「子ども議会」としての「第一回未来創造議会」が開催されて、本当にうれしく思います。関係の皆さまに感謝いたします。

かねてから疑問に感じたり是正して欲しいことなど、予想通り「子ども目線」の意見や要望等を堂々と話す子どもたちがとても頼もしく感じました。

多くの人が認める良いアイデアの実現に向けては、多方面からの検討や議論を要し、互いの努力が必要とします。ただし、個人の意見が全て現実化できるわけではありません。いつも私がお願いしていることですが、いろいろなことに「何で？」と疑問を持ち「自分の頭でしっかり考える」習慣を身に付けてほしいと思います。自分の頭や心を育ててくれるチャンスに出会った時、それに

反応できる準備をしておくことは大切です。

社会生活をする中での問題は全て応用問題です。それに対応できるように準備するのが、いろいろな教科の基本的な知識や考え方を習得する学校での勉強です。それを疎かにすると、目の前の絶好のチャンスや言葉を見逃してしまい、見逃したことから気付かない人になってしまいます。それでは人としての成長は期待できません。

議場での発表者は限られています。が、他者の意見を聞くことは自分の意見を持つことにつながるのです。次回は児童生徒の傍聴者が増えて、「子ども議会」が更に充実し発展することを期待しています。





私 は、柏原から自転車で登校しています。その時通る新川西の交差点付近の細い歩道が危険と感じています。竹やぶで道が細く、側溝との間に急な段差があるので自転車だとバランスを取りにくく転ぶ可能性があるため、対策できないでしょうか。

問 中学校への通学路の安全確保について。



竹下 心愛 議員
(東中良中 3年)

答 鹿児島県へ現場の確認と対応をお願いした。

ご 指摘の道路は、県道柏原池之原線といい、鹿児島県が管理する道路です。指摘された箇所は、何らかの理由で歩道の整備が困難な場所だったと思われます。また、側溝との段差につきましては、自転車で行く際は、安全な路面状況ではありませんでしたので、早速、鹿児島県へ現場の確認と対応をお願いしたところでございます。また、歩道設置につきましては、鹿児島県へ要望したいと思っておりますのでご理解ください。



柏 原の相撲場、町営プールなどを一体的に使えるようにしたいです。相撲場は相撲の時しか使われていません。そこで、もっとそのような場所を利用して、イベントやお祭りを開催するなどして、町全体の雰囲気盛り上げるのはどうでしょうか。

問 今ある施設を十分に利用して町全体を盛り上げては。

答 相撲教室やイルミネーションイベントを開催した。

7 月27日から28日の2日間に行われ、大隅地区内の小学生を対象とした相撲教室が本町の柏原相撲場で開催されました。また、相撲場がある円山公園内にて、昨年、イルミネーションイベントも開催されました。今後は、相撲場に屋根が設置されたことを利用し、松林内での森林浴も兼ねて土俵の上で音楽器等などの演奏会を開催できないかということなども検討してみたいと考えております。



中 学生が、公衆電話を利用し、車を待つスペースがあるのはとても便利です。しかし、部活が無い日や雨が降っている日はとても混み合い、待合所に入らず濡れてしまう場合もあります。そこでもう少しスペースを広くしカバンを置く所を増やすことはできないでしょうか。

問 役場の駐車スペースにある車を待つ場所について。

答 みなさんがゆずりあいのころをもって利用してもらいたい。

今 年7月に現在の屋根付きの待合所の道路に面する側にあったツツジを撤去し、その場所をコンクリートで舗装したところであります。中学生のみなさんが待てるスペースは広がったと思います。雨の日は、屋根付き待合所は傘のない人の利用を優先していただき、みなさんがゆずりあいの心をもって利用してもらいたいと思います。また、屋根とイスの設置については、今後、みなさんの利用状況等をみながら検討していきたいと思っております。





窪田 菜々羽 議員
(東申良中 2年)

問

東申良町の
企業誘致について。

東

申良町は将来私が
就きたいと思っ

ているIT関連の企業がな
く、就職先を見つけるの
が難しいと思います。こ
れでは子どもたちが大人
になったときに、町を離
れてしまおうと思います。

それを少しでも阻止す
るために、企業誘致をし
て若者の就職先を確保し
たら「子どもに夢を、若
者にロマンを、お年寄り
に愛を」という町長が目
標としている町づくり
に近づくのではないかと
思います。



答

企業誘致は行いつ
つ、地理的な有利
性を全面に出しな
がら定住用地貸付事業
を展開していく。

用

地の確保や交通ア
クセスの問題等、
企業が望む地理的要因な
ど多くの課題を抱えてい
る現状であります。本町
は、鹿屋市と志布志市の
中間地点にあり、通勤
には適した町でもあり、
ベッドタウンとしての魅
力をアピールしています。
引き続き企業誘致は行
いつつ、地理的な有利性
をもっと全面に出しなが
ら定住用地貸付事業を展
開し、住みやすいまちづ
くりに進進していきます。



竹下 翔 議員
(柏原小 6年)

問

交通安全対策に
ついて。

吉

川菓子店から柏原
小学校を通り過ぎ
るところまで道幅が狭い
のですが、大型トラックな
どの通行が多く危険なの
で、横断歩道や、歩行者
専用信号の設置、通学時
の大型トラックの交通規
制はできないでしょうか。

また、カーブミラーの
設置などをできないで
しょうか。



答

関係機関に
要望する。

町

としても、道路や
カーブミラーなど
の整備に取り組んでいま
すが、予算は限られてい
るため、一度に整備する
ことは困難であります。

ご指摘の道路は、国道
448号線と思われます
が、この道路の管理者は
鹿児島県です。道幅の拡
充について今までも要望
しておりますが、今後も
引き続き要望していきま
す。

また、通行規制は、道
路交通法の規定により、
鹿児島県公安委員会が設
置主体となりますので、
肝付警察署に対して要望
していきます。



山越 みゆう 議員
(池之原小 6年)

問

見通しの悪い所の
竹林を切ってもら
えないか。

道

路(サファイアガ
ス)を渡るときに、
竹林で見えなくて車が来
ているのか分からないと
いう事がありました。も
し切ってもらえたら車が
来ているのが分かるし、
車の方からも見やすくな
り、安心して通ることが
できると思いますが、ど
う考えますか。



答

所有者に対して、
沿道竹林等の適正
な管理をお願いし
ている。

沿

道にある竹林等の
管理が適正に行わ
れていないと、道路利用
者の通行の安全を害して
しまいます。これらが原
因で道路利用者に事故が
発生すると、樹木の所有
者の責任を問われること
がありますので、所有者
に対して、沿道竹林等の
適正な管理をお願いして
いるところです。

なお、道路交通への危
険が迫った時は緊急措置
として、道路管理者にお
いて伐採し、道路の確保
や交通安全対策をとって
いるところです。

山越 みゆう 議員
(池之原小6年)



問 公園のごみ箱の設置について

公 園に行ったときに、ごみが落ちているのをよく見かけます。そこで、ごみ箱を設置したらどうでしょうか。ごみ拾いをしたら、1日1回だけスタンプなどを押すことができて、そのスタンプが溜まったら、町で使える商品券がもらえる、と、ごみが散らばる事はないのでは、ないかと思いましたがどう考えますか。



答 ごみ箱を設置すれば、新たな問題が出てくる可能性がある。

ご み箱を設置すれば、ごみ箱が満杯なのに無理やり押し込む人、車の中のごみを捨てる人、家庭用のごみを捨てに来る人などの問題が発生する可能性があります。

これから、町では定期的に公園をキレイな状態になるように、清掃を行っていきますので、公園を利用される全ての皆さんもごみを捨てないよう、心がけていただきたいと思います。



問 年金で入れる町営の老人介護施設が池之原と柏原に1つずつほしい。

こ れから先、ますます高齢者が増えていく可能性が高いです。それに伴い、生活が困難になる高齢者が増加するだろうと思います。現在の高齢者施設の中で年金だけで入所できるところは少ないです。

そこで安心して暮らせる老人ホームを作ったらどうでしょうか。



答 新しい施設の建設は難しい。

今 後10年以内に高齢者の人口が減っていくことを考えますと、新しい施設の建設は難しいのではと考えております。ましてや、町営となりますと、建設費のみならず、人件費や施設の維持管理費にたくさんのお金が必要となります。また、介護職員の人材確保も大きな問題でありまして、これらの問題をクリアするのは容易ではありません。

現在は、家に居ながら医療や介護、地域の住民が協力し、地域の高齢者を支えていく仕組みを推進しているところがあります。



森山 花菜 議員
(柏原小 6年)

問 ぼくたちが生活しやすい町にするために。

子 どもが生まれたときにはお祝い金があるみたいですけど、その後、僕たちが大きくなるためにはお金がかかります。小学校、中学校、高校入学の時、お祝い金があれば僕たちは行きたい学校に行けるし、勉強やスポーツができます。お祝い金を交付する考えはありませんか。



答 新たにお祝い金を交付する考えはない。

東 申良町では、小学校と中学校の給食費に対して月額2,000円を助成しています。英語検定、漢字検定、算数・数学検定も全額助成を行っています。また、就学費用を援助する制度も設けています。高校生には、鹿児島県の方で高校の授業料が無料になる制度があります。

これ以外にも、子ども手当や扶養手当など、いろいろな子育て支援の制度がありますので、新たにお祝い金を交付する考えはありません。



岩山 達真 議員
(池之原小 5年)

宮本 愛未 議員
(池之原小 6年)



問

豊栄方面の避難タワーの設置について。

豊

栄方面は、土地が低く津波が来ると避難が難しいと思うので、避難タワーなどの避難所があると良いと思いますが、どう考えますか。

答

豊栄方面の避難タワー設置は考えていない。

豊

栄方面の避難タワー設置は現時点では考えておりませんが、池之原小学校が避難施設に指定してありますので、危険を感じた時には、小学校への避難をお願いします。

また11月9日には豊栄地区で避難訓練を計画しています。

「災害が起こった時、自分の命を守るためにはどういった行動をとればいいか」など、皆さんで日頃から、考えてみてください。町では引き続き、災害に強い、安心、安全なまちづくりに取り組んでいきます。



問

温泉施設を造る事はできないか。

東

申良町では、高齢者が年々増加していますが、こうした高齢者の方々が安らぐ場所が少ないと思います。

そこで、景色のいい柏原の海沿いに、温泉を建設するのはどうでしょうか。温泉を1つ造るだけでも、観光客が増え、東申良のPRにつながると思います。温泉のことについて、どのように進めていくか、教えてください。

答

温泉施設の建設については、あらゆる視点から検討が必要。

温

泉施設の建設につきましては、建設費だけでなく運営費、維持管理費等が必要となります。今後の人口減少等に伴う利用率の推移、源泉がない状況での観光資源としての価値があるのか、建設場所が柏原の海沿いとなれば津波の問題など、あらゆる視点から検討が必要と考えます。

また、本町独自の取組みとしては、60歳以上の町民が近隣市町の温泉施設を利用する際、1回200円の利用券を、年間30回分配付しております。



問

町営プールの施設管理について。

プ

ールの施設が古くなってきたており、子どもたちが利用する際、危険を感じています。

私が柏原の町営プールに行った時、友達がトイレのドアが開かず、大変怖い思いをしました。全体的に古くて汚いので、綺麗にしてほしいです。今後の安全対策、維持管理について尋ねます。

答

必要に応じた修繕等を実施しながら施設の維持管理ならびに安全対策に努めていく。

町

営プールも出来て50年が経過しており、これまでも小規模な改修を重ねながら、今日に至っています。

現在のところ、必要に応じた修繕等を実施しながら施設の維持管理ならびに安全対策に努めてまいります。また、柏原海岸の総合的な活用方法の一環として、今後、町営プールを位置付けていくのかを十分に検討し、大規模改修等の必要性を検討してまいります。



江川 純平 議員
(東申良中 3年)



竹下 輝 議員
(柏原小 6年)



池 之原にコンビニがあります。柏原にはコンビニがありません。近くて便利なのがコンビニだと僕は思います。コンビニに行きたい時、柏原に住んでいる人は、池之原まで行かないといけません。

そこで、コンビニのある地区を、もっと増やしてほしいと思います。

問

コンビニエンスストアの誘致について。

答

コンビニは民間の方々が運営しているもので、利益がないと店を閉めないといけない。



中島 彰吾 議員
(東申良中 2年)

コ ンビニは、民間の方々が運営していますので、利益がないと店を閉めないといけないわけです。柏原地区にコンビニができないということは、そのあたりの事情があるものと思われます。

柏原地区には、買い物もできるお店と簡易郵便局が一緒になった「ここにこ館」があります。お年寄りの買い物のお手伝い・支援を行うとともに、近くの方にも買い物ができるようになっていきます。

問

子どもたちが遊ぶ広い公園を造ってほしい

公

園はありますが家が密集しており、ボールが外に出た時に、家にボールが当たってしまう可能性があります。



子どもたちが広々と遊べる公園があった方がよいと思います。昔、町のグラウンドの隣に、公園や遊具があったと聞きました。しかし、今はありません。子どもたちが遊ぶ場を増やすために、遊具の再建築、新しい公園建設について尋ねます。

答

コミュニティ広場や円山公園に遊具を設置している。

町

では総合センター近くのコミュニティ広場に子どもたちが遊べる遊具や、大人も楽しめる健康遊具を設置いたしました。また、柏原地区の円山公園には、耐久性や安全面に優れた複合遊具を設置しており、今後も施設をより充実させていく予定です。

東申良町は南北に長い町です。大きな公園を1か所造るよりは、自然と調和した広場と遊具施設を整備し、ご家族等で弁当を広げている光景がみられる町民の憩いの場所づくりを目指しています。

問

子どもたちが遊べる施設について。

こ

こ東申良町には、子どもたちが増えてきていることに対して、子どもたちが遊べる場所が少ないです。僕は、今、にぎやかタウンに住んでいます。周辺には年々家が多くなっています。

一つでも、公園などの遊べる場所があれば、町内、町外からも沢山の人が遊びに来て、町の活性化にもつながると思います。

そこで、子どもたちが気軽に遊べる公園のような場所を造ってもらえませんか。

答

町総合体育館などの公共施設を有効に活用してほしい。

に

ぎやかタウンには、緑地帯として公園が整備されています。これは、地域の憩いの場として、また防火や一時避難所としての役割もあります。

夏休みに入り、町営プールの無料化や総合体育館の利用料を低くしていることもあり、利用する子どもたちが増えてきています。子どもたちがのびのびと遊べる場としては、町総合体育館や町民運動場などの公共施設もありますので、有効に活用していただきたいと思います。



下原口 治仁 議員
(東申良中 3年)

下原口 治仁 議員
(東申良中3年)



問 交通安全について。

最 近、ニュースなどで「高齢者ドライバーの事故」が多発している、よく聞きます。僕は、少しでも事故が減るためには、東申良町で何年に何回という形で、自動車運転の再指導や交通安全の講話などの呼びかけを行えばいいと思います。その小さな呼びかけだけで、事故の減少につながり、安全で安心して暮らせる東申良町が作れるのではないかと思いますが、町長の考えをお聞きます。

答 運転免許証を自主返納した高齢者に、タクシー利用券等を交付している。

身 体機能の低下などにより運転を継続する意志がなく、運転をやめる場合、本人の申請により運転免許の自主返納ができます。町では、この自主返納制度の利用を促進し、交通事故の抑制を図るため、自主返納した満65歳以上の高齢者に対し、1万円分のタクシー利用券等を交付しております。

また、毎年、県警の協力のもと、交通安全教室を開催するなどして、高齢者の交通安全意識を高める活動も行っています。

問 学校給食について。

食 べる量には個人差があり、なんでも平等に食えることができません。残食が出てしまいうす。

そこで、バイキング方式にしたなら、個人に応じた量を摂ることができ、残食も減ると思います。どうお考えでしょうか。



答 給食の目的は年代に応じて必要な栄養やカロリーを供給し体力の増強と健康を維持するためのもの。

給 食の目的は年代に応じて必要な栄養やカロリーを供給し体力の増強と健康を維持するためのものであります。単に児童生徒の個人の好みの食材・料理を提供することではありません。

仮にバイキング方式にしたら2〜3種類の人気メニューだけ大量に作り、栄養面では最悪の状態になることが容易に予想できます。好き嫌いをせず、何でも食べるよう努力してほしいと思います。

問 道路や公園の管理について。

最 近、道路や公園などの草が伸びていくところが目立っています。道路を通る時など、草を避けて歩くことが多く、車道寄りを通ることになっていきます。

また、見通しが悪く、車やバイクが来るかどうか分りにくいところもあります。さらに、公園内の草も、遊ぶのにとっても気になります。道路や公園の管理について、どうお考えでしょうか。

答 委託業者等に除草作業をお願いしている。

町 道の除草につきましては、梅雨明けした後に主要な町道について草刈を町内の建設業者へ依頼しています。冬にかけて、状況を見ながら必要があれば除草剤散布も実施しております。今後とも早め早めの除草管理に努め、交通に支障のないようにしたいと思います。

公園の除草作業については、定期的に委託業者に作業をお願いしております。限られた人員と予算では、限界があり天候にも左右されるところです。



通 学する際に、通学用のかばんが重いということがあります。前に置き勉の許可が出ましたが、置き勉してよい教科は、週に1回しかない教科で、その教科を置き勉しても、大してかばんの重さは変わりません。対策を考えてほしいです。

学 校と対策を協議した際の主な問題点は①全てを「置き勉」にしたら家庭学習が少ない今よりもっと減るのではないが、②盗難があったらどう対応するか、③ロッカーをどこに置くか、その鍵の管理はどうするか等でした。それを踏まえ、「必要な物だけ持ってくる、社会科は副教材は買わない、従来に比べて、置いていいものを15%増やした」など、学校でもいろいろ考えて具体的なできる範囲の対策はしているということです。

問

通学時にかばんが重い。

答

学校でも具体的なできる範囲の対策はしている。



石原 蒼 議員
(東申良中 2年)

問

水の出が悪い。

僕

の家の牧場では、水の出が悪いです。時間帯によっては、ちよろしくしか水が出ません。普通なら、高いところから下の方へと給水するはずですが、僕の家の場合は、下から上の方へと給水されており、そのため蛇口を最大までひねっても水の出が悪いです。水道管工事について、改善できないか尋ねます。



答

水利利用の集中する時間帯は一時的に水の出が悪くなってしまうこともある。

岩

弘地区では水が高いところへ流れる力を利用する「自然流下方式」で水を送っています。しかしすべての場所が十分な高低差で水を送れているわけではないので、水の利用が集中する夕方などは一時的に水の出が悪くなってしまう場合があります。

現在の水道管は、40年以上前にその場所に合わせた管の大きさを設置してあります。将来は、さまざまな調査等を実施して、現状に合った水道管が整備されることになります。

問

東申良町の交通事故を減らすために。

高

齢者の方々が、安心して安全に車を運転できるように、事故の多い場所や、国道220号線の人通りが多い場所に、点滅信号や信号機を増設すればいいと思います。また、夜間でも運転がしやすいように、暗い所やガードレールがなく危険な場所に、街灯を設置すれば、東申良町民一人ひとりが住みやすい東申良町になると思いますが、対策について町長の方針を尋ねます。



答

所管の機関に要望すると共に計画的に整備していく。

国

道220号線に点滅信号や信号機の増設については、鹿児島県公安委員会が設置主体であり、信号の設置基準と照らし合わせながら、肝付警察署に対して要望いたします。

また、国道220号線沿いのガードレール設置について、道路管理者である国土交通省に対して要望いたします。町では、住民の方々から、街灯の設置、修繕の要望を出してもらい、計画的に整備しています。



野田 桜乃 議員
(東申良中 2年)



町長と語る会

町長と語る会を7月22日・23日に町総合センター及び農村環境改善センターにて開催しました。町長と語る会では、町長が平成28年3月に就任してから行った事業や施策について、スライドを使用しながら町長自身が行政報告を行いました。その後座談会として参加者との意見交換を行いました。本内容は、会にて配布しました資料に説明を付加したものです。



町長と語る会



下伊倉避難タワー



東日本大震災の津波被害を教訓に全国各地で津波避難タワーや人工高台の建設が進められています。東串良町では、南海トラフ巨大地震などによる津波から人的被害を防ぐため、浸水想定地域である下伊倉地区において、地震発生から津波到達までの時間的猶予や条件等の理由により、近くの安全な高台等への避難が遅れた場合の緊急的な一時避難場所として活用する施設として平成28年度に整備しました。

女性消防隊発足



平成29年11月1日、東串良町消防団女性消防隊が発足しました。女性消防隊は、女性ならではの視点で地域防災に関わり、高齢者宅の防火訪問や見守り・救命技術の習得及び普及を図る目的で発足しました。主な活動内容は、独居高齢者・自主防災組織への防火・防災訪問、災害時の後方支援、火災予防啓発活動等です。

防災センター

防災センターは、南海トラフ地震や大規模災害の備えとして安留地区に平成29年度に建設しました。津波避難場所として屋上に避難ステージと太陽光発電によるLED照明灯を設置、2階に長期的避難所を、1階に水防対策資器材・非常食倉庫が設置されています。また、敷地内には生活用水として防火水槽を備え、受援体制の確保として緊急輸送道路に直結し、大規模駐車場や緊急時のヘリポートを配備するなど多面的な機能を有しています。



津波避難階段

津波避難階段は、南海トラフ地震や大規模災害の備えとして柏原地区の住民がすぐに高台へ避難できるように整備しました。高齢者の方でも登れるよう緩やかな階段となっています。



役場総合案内の設置



柏原地区の高齢者の方の買い物支援対策や、お店を柏原に確保するために、鹿児島興業信用組合柏原出張所跡地を改修して平成29年1月11日にオープンしました。買い物支援を行う集落支援員が2名配置され、買い物代行や日用品を販売しています。館内にはお店の他、簡易郵便局もあります。



にこにこ館

明るく親しみやすい役場環境づくりのため、1階のロビーに総合案内係を配置しました。町職員を活用した住民への庁内案内です。住民の皆さまへの行政サービスの向上を図る目的で設置しました。

にぎやかタウン雪山 土地陥没対応



町長と語る会

平成18年度から土地の貸付を行っているにぎやかタウン雪山地区において、陥没や沈下等の変状が相次ぎました。住民の皆さまとの合意に基づき最終的な問題解決策として、地区の北側の住居4戸を買取り、3戸を隣接地に曳家を行う対応を行いました。また、買い取った住居については、町営住宅として利活用していきます。



第5次定住促進 住宅整備事業

人口減少対策として、池之原地区に定住促進住宅用地として第2ルピナスタウン池之原の整備を行い、平成29年から町外居住者を対象に募集を開始しました。1坪当たり月額90円で貸付を行っています。なお、10月17日現在で全46区画のうち、25区画が契約済み、うち15区画が移住済みとなっています。

空き家対策事業



ふるさとや地方へのU・Iターン及び空き家の増加への対策として空き家バンク制度を制定し、利用可能な空き家の情報をインターネットや情報誌で掲載しています。また移住者住宅改修補助金制度を制定し、空き家バンクに登録された物件を改修する際にその費用の一部を補助金として交付しています。

柏原地区 定住促進事業

柏原地区の人口減少対策として、柏原地区に定住促進住宅用地を整備しています。柏



給食費助成事業



原小学校北側の林野（約1,900㎡）に本年度造成工事を行い、定住促進住宅用地として2区画・駐車場1区画整備し、柏原地区の移住促進を図ります。



池之原小学校 校舎増築工事

児童数の増加に対応するため、平成28年度に池之原小学校で校舎の増築を行いました。増築した校舎は6年生の教室として使用しています。

平成28年度から少子化問題、教育、子育てに対する支援策の一つとして、学校給食費に対して月額2,000円の補助金を交付しています。保護者の経済的な負担軽減を行い、子育て世代の定住化の促進と子育て環境の向上を図っています。

小中学校冷暖房 設備設置事業

近年の猛暑などの環境の変化から児童の健康を守る観点から、平成30年度に東串良中学校、令和元年度に池之原小学校及び柏原小学校に冷暖房設備の設置を行いました。中学校は平成30年9月から、両小学校は令和元年9月から運用を開始しています。



町道柏原小学校 東門線整備

平成30年度に石油貯蔵施設立地対策等交付金を活用し、柏原小学校東門線の改良舗装工事を実施しました。この工事により、避難道として幅員が確保され、災害発生時に緊急車両等の通行路として利用でき、また国道448号の交通混雑が緩和されることが見込まれます。



町道 第2中学校線整備

平成29年度に石油貯蔵施設立地対策等交付金を活用し、第2中学校線の改良舗装工事を実施しました。この工事により、避難道として幅員が確保され、また歩道を設置することで、歩行者の通行の安全確保が図られ、災害等の避難時に緊急車両等が避難者と交錯する可能性が低くなり防災道路としての機能も充実することが見込まれます。



教職員住宅の整備

既設住宅の老朽化に伴い、東串良中学校体育館西側に教職員住宅を新築しました。未来の東串良町を担う大切な子どもたちを教育する先生方の住居環境改善を図りました。



LED照明灯 整備事業

通学路及び緊急避難道路に夜間における安全性の確保のため、LED照明灯を131基整備しております。



運動場

メインスタンド改修

メインスタンドの外壁にクラック・剥離が見られ2階スタンド部分の鋼材に腐食・劣化あり隣接する道路部分にポルトの落下等が確認されて利用者・通行者等に危険な状況でありました。

2階メインスタンドへの立ち入りを規制するなどの措置を講じていましたが、平成28年度に改修したことにより安心・安全に施設の利用ができるようになりました。



町長と語る会

平成28年度にバスケットゴールを一セット整備しました。今まで一セットしかなかったため、大会等が開催ができませんでした。2セット整備したことで大会等の開催が可能となり、体育館の更なる有効利用が期待されます。また、11月には鹿児島県のプロバスケットボールチーム「鹿児島レブナイズ」の公式戦も行われます。

バスケットゴール整備



町民運動場 駐車場整備

町民運動場周辺で行われる各種大会（町民運動会や野球大会）の駐車場としての利便性の向上、雑草等の除去など維持管理の経費削減のため、平成29年度に全面舗装し駐車場として整備しました。



多目的広場 駐車場整備

多目的広場ではグラウンドゴルフなど多くの住民が利用されています。これまでは、雑草等の除去など維持管理に手間がかかっていました。また、フェンス等もなく交通事故等が懸念されていました。

多目的広場 休憩施設整備

平成29年度に駐車場の全面舗装とフェンスを設置したことにより利用者の安全確保や利便性の向上を図ることができました。



柏原相撲場 整備事業

多目的広場は、町の体育施設でもグラウンドゴルフやサッカーなど利用率が高い施設でしたが、日陰がなく夏の暑い時期は熱中症などの健康被害が心配されていたことを受けて、平成29年度に屋根付の休憩施設を4カ所整備しました。このことにより日陰で休憩でき熱中症などの健康被害の予防に貢献できました。



280年余りにおよぶ伝統行事の柏原大相撲は毎年、観光客の誘致や町の活性化に

大きく貢献している行事です。雨天時でも土俵の良好な状態が確保できるように、平成29年度に相撲場屋根を設置しました。

円山公園整備事業



平成28年度から、円山公園及びふれあいの森キャンプ場の整備を年次的に実施しました。平成28年度は、円山公園内の松林の下払いを実施し、平成29年度・30年度では、ふれあいの森キャンプ場の下払いと円山公園内に遊具3基、ベンチ5基を設置しました。遊具とベンチの設置については、県の地域振興推進事業を活用しました。

ふれあいの森
整備事業

ふれあいの森キャンプ場にある炊事棟と大型複合遊具の補修を平成29年度・30年度で実施しました。これは、当該施設が設置されてから、30年近く経過していたことで、老朽化が著しく、利用者に対して不快感を与えていました。補修内容としては、腐食部分の交換や屋根・外壁の塗装を行いました。

柏原海岸整備事業

3・4月と多くの人々で賑わう柏原海岸では、年間を通して、美しい海岸を目指して、平成30年度にビーチクリー

ナーとスライドモア（草刈り機）を導入し整備に努めます。令和元年度では、柏原海岸整備用のトラクターを導入しました。

コミュニティ広場
遊具設置

コミュニティ広場に老若男女たくさんの方が足を運んでいたように、コミュニティ助成事業を活用し、健康遊具などを設置しました。遊具で遊ぶ子どもたちを見守れるように周囲に設置したベンチも、腹筋や背伸ばしとしても活用できるようになっています。この他、子どもが全身を使って遊べるようクライミング（ボルダリング）遊具も設けています。

全国和牛能力
共進会「日本一」

5年に1度開催される和牛のオリンピック「全国和牛能力共進会」が平成29年9月7日から11日まで宮城県仙台市で5日間開催されました。鹿児島県からは29頭が選抜され、



うち東串良町からは5頭が出場しました。この全国和牛能力共進会において、鹿児島県が団体総合優勝を勝ち取り、鹿児島黒牛が日本一の栄冠を手に入れました。

唐仁古墳群他
バスツアー

平成30年11月17日、文化庁文化財補助事業を活用した「唐仁古墳群他バスツアー」を開催いたしました。当日は定員を超える申込みがあり、国指定史跡唐仁古墳群や地域の文化財等を見学し、町文化財保護審議会委員や担当職員が説明を行いました。前年には唐仁古墳群関係のシンポジウムを開催するなど、文化財の保存・活用について普及・啓発を実施しました。

町内バスツアー



「交通手段が限られている」「一人で遠くに行くのは不安」といった町内のお年寄りの声を受けて、町内を巡るバスツアーを企画しました。唐仁古墳群や柏原の松林、防災センター等を見学した後、豊栄地区のひつとべ館で開催される「ひつとべデー」と、物産館ルピノンの里でお買い物を行っています。参加者からは「思っていたより町は広いですね」「初めて行く場所が多くて楽しかったです」という好評の声をいただきました。

町長と語る会

近年整備が進み、美しさを取り戻した柏原の松林。有効活用して観光、地域活性に繋げていくことを目的にイルミネーションイベントを開催しています。冬の寒空のもと、自然の中に現れる光の空間で特別な夜を過ごせます。町内事業者を中心とした飲食の販売や、焚き火、音楽などが準備され、来場者がそれぞれの楽しみ方で時間を過ごしていただくことがコンセプトになっています。イベントの情報は、町広報誌や防災無線でお知らせします。

地域おこし協力隊活動によるイベント開催



子ども医療費助成

子どもの病気や怪我等の早期発見及び治療開始を促進するため、子ども医療費の助成を行っています。平成29年度よりこの助成を今までの中学生までから高校生までに拡大しました。



単身用集合住宅の誘致

東串良町民間資金活用集合住宅建設促進事業を施行しました。本事業は、固定資産税の税制面の支援を行うことで、民間資金を活用した集合住宅の建設を促進し、東串良町において良質な住宅の確保及び移住促進による地域の活性化を図るための事業です。その第1号として、物産館「ルピノンの里」の隣接地に単身用集合住宅「カーサブラック」が平成31年3月に建設され、事前申込の時点で満室となりました。



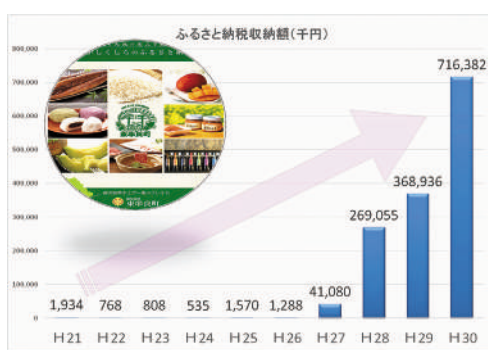
専門職員の配置

専門性の高い業務に対応するため、専門学部の出身者や専門資格者を積極的に採用しています。農林水産課に営農指導員、社会教育課に文化財専門職、建設課に建築専門職をそれぞれ配置しました。



ふるさと納税事業

ふるさと納税については、歳入確保対策の重要項目として位置付けています。返礼品の掘り起こしや開発、事業者間の連携による返礼品の充実などを事業者と協議を重ねました。平成30年度には7億1,638万円の収納額となりました。



質問やご意見！

町長と語る会

「町長と語る会」での ご質問やご意見（要旨）

町長と語る会で皆さまからいただきましたご質問やご意見について、いくつか抜粋のうえ掲載しておりますので、ご理解ください。

質問・意見

避難所である総合センターは、増水時には冠水の恐れがある。池之原小学校の体育館を避難所とするべきではないのか。

回答

池之原小学校にはクーラー設備がないため、設備のある総合センターを開設した。

質問・意見

安留地区防災センターに避難をしたが、お年寄りの方が多く、階段を登れないため、消防団員におんぶしてもらい階段を登った。30名ぐらいの人が避難したが仕切る人がいなかった。また、町からの弁当の支給も人数分なかった。トイレに行く際通路にまで人がおり、歩行が困難で

あった。

回答

職員を一名、消防団員を一名ないし二名配置している。今回いただいた意見については検討していく。また、食料やタオルケットについては持参していただくようお願いしている。食料については事前に人数が把握できないこともあり、人数分を支給するのは困難である。

質問・意見

串良川の河川敷に梅檀せんだんの木が生えているが撤去をした方がよいのでは。

回答

管轄をしている国土交通省に伝える。

質問・意見

案内係であいさつ等をしない職員がいる。

回答

あいさつをするよう指導する。また、来客者に対する目線を45度追う

ように指導していく。

質問・意見

にこにこ館が5時で閉まるが、1時間でも延長できないのか。また、品物の値段も高いのではないかな。

回答

価格については、店に任せているので、管理はできない。時間については、開店時間を遅らせて、閉店時間を遅らすということもできるのではないかな。

質問・意見

バスで買い物ツアーをしてもらえないか。

回答

福祉バスでお風呂の送迎をしているが、それを買う物ツアーに回せないかということも考えていきたい。

質問・意見

免許証返納後の交通手段がない。

鹿屋市のくるりんバスのような巡回バスを導入してほしい。

回答

現在のところ導入は難しいが、対策は考えないといけない。現在の対策としては、免許証返納時のタクシー利用券の贈呈、柏原地区の代替タクシー、集落支援員による買い物支援の制度がある。

質問・意見

柏原大相撲に町民の参加が少ない。

回答

相撲の日程にスポーツ少年団の試合等が重複しており、子どもたちの参加が困難な状況である。

質問・意見

東串良町には他の市町村のような観光案内施設がないがどう考えているか。

回答

観光については企画課が担当して

いるので、そこで対応をしている。

質問・意見

松林が草山となっている。区画毎に募集をして、管理をしてもらう。また、松の木に名前を付けるというのはどうか。

回答

国有林なので、森林管理署の管轄である。意見は伝える。

質問・意見

ふれあいの森や円山公園から海が見えない。

回答

国有林や町有林の管理が行き届けば、部分的にでも見えるようになると考えている。

質問・意見

児童館の取扱いをどうするのか。

回答

柏原大相撲の備品等の保管場所と

して活用している状況である。

また、その他のご質問やご意見として次のもの等がありました。

- 東串良に住んで良かったと思えるような新しい事業にどんどん取り組んでほしい。
- ふれあいの森がすごくきれいになった。
- ふれあいの森にトイレがないので、トイレを造ってほしい。
- 横瀬古墳から柏原海岸を通って唐仁古墳群に通ずる観光ルートを作ってほしい。
- 昔はルーピンはもっと大きかったように思う。もっといい種はないのか。
- 町のよさを知ってもらうために子ども向けの町内バスツアーをしてほしい。
- 職員採用について疑問を持っているが、この会で説明を聞くことで疑問が解消された。
- 船の廃船は景観を損ねるので、どうにかならないのか。
- 東串良には宿泊施設がないので、検討してほしい。

広
報

東くしら

緑が香る 潮が香る 歴史が香るまち



令和元年11月
臨時号

未来創造議会・町長と語る会 特集号



●発行／東串良町企画課

●発行日／令和元年11月11日

〒893-1693 鹿児島県肝属郡東串良町川西1543 ☎0994-63-3122 Fax 0994-63-3138

東串良町HP <http://www.higashikushira.com> E-mail kikaku@higashikushira.com

無料アプリ「マチイロ」で広報東くしら配信中！▶



【ios 用】 【android 用】

